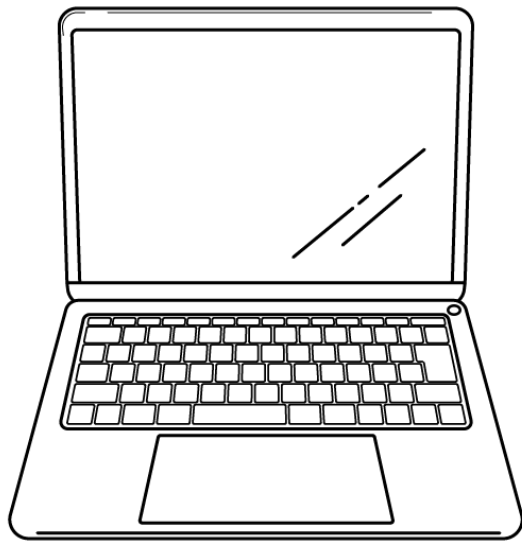


# miyasuku EyeConSW

## スタートアップマニュアル

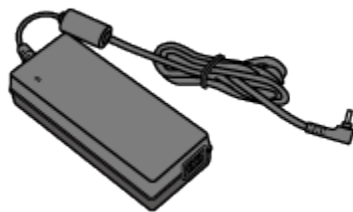
miyasuku EyeConSW



視線入力装置



スイッチ



電源ケーブル  
(ACアダプタ)



電源ケーブル  
(電源コード)

スイッチボックス



### <もくじ>

各画面の名称	.....	p. 1
準備	.....	p. 4
視線で操作	.....	p. 6
スキャンで操作	.....	p. 9
キーボード	.....	p. 10
こんなとき	.....	p. 12
知っておくと便利	.....	p. 13
動画による説明	.....	p. 15

# 各画面の名称



## 1. 全体画面

<画面各部の名称>



### 1 意思伝達画面

文字を入力するエリアです。

### 2 意思伝達画面のメニュー

作成した文章を保存、印刷、設定できます。  
意思伝達画面は最大5つまで切り替えられます。  
[タブ]ボタンを押すと、タブパネルが順番に切り替わります。

### 3 キーボード

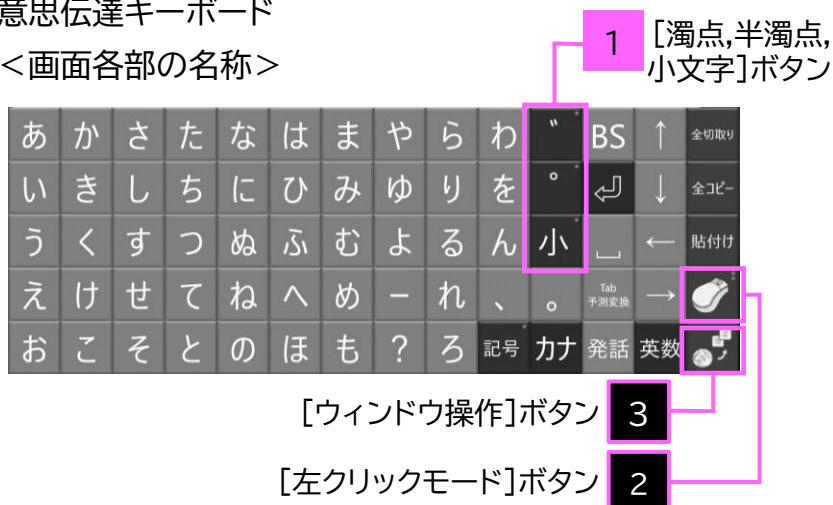
視線やスイッチで文字を選択します。付属のキーボードメーカーを使って、自分好みにカスタマイズできます。

### 4 操作パネル

文字入力やマウス操作する際の設定、機能の設定を行います。

## 2. キーボード

意思伝達キーボード  
<画面各部の名称>



### 1 [濁点,半濁点,小文字]ボタン

濁点,半濁点,小文字を入力する際、文字の入力前にONにします。

### 2 [左クリックモード]ボタン

マウスの左クリックによる操作を行う場合、[左クリックモードボタン]を押して、ON(●を点灯)にします。左クリックによる操作が1度行えます。  
●が1つの[左クリックモード]ボタンを再度押すと「●●(●がふたつ)」になり、連続で左クリックによる操作が行えます。

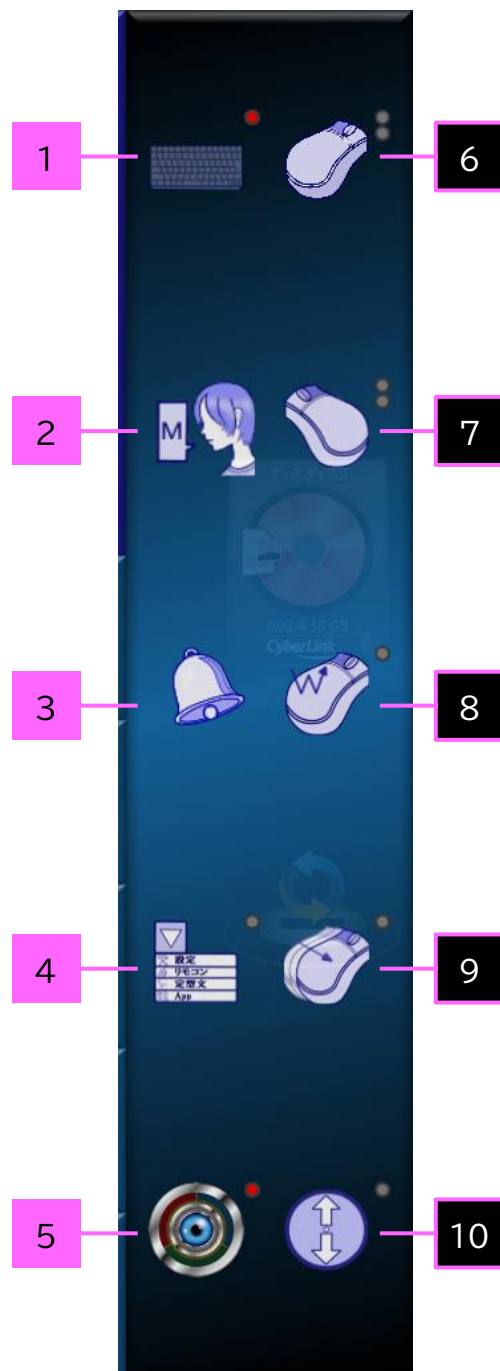
### 3 [ウィンドウ操作]ボタン

アクティブウィンドウの切替、ウィンドウ移動、ウィンドウサイズの変更、ウィンドウを閉じる操作を行います。

# 各画面の名称

## 3. 操作パネル

<画面各部の名称>



- [ 凡例 ]
- [ 意思伝達 ]画面で使用
  - [ 意思伝達 ]画面以外で使用

< 意思伝達画面で使います >

- 1 [キーボード]ボタン**  
キーボードの表示/非表示を切り替えます。
- 2 [意思伝達]ボタン**  
[意思伝達]画面の表示/非表示を切り替えます。  
[意思伝達]アプリケーションが起動する際、時間のかかる場合があります。
- 3 [アラーム]ボタン**  
アラームを鳴らします。
- 4 [拡張機能]ボタン**  
拡張機能パネルの表示/非表示を切り替えます。
- 5 [視線操作]ボタン**  
[視線操作]のON/OFFを切り替えます。

< パソコン操作など意思伝達画面以外で使います >

- 6 [左クリックモード]ボタン**  
マウスの左クリックによる操作を行う場合、[左クリックモード]ボタンを押して、ON(●を点灯)にします。左クリックによる操作が1度行えます。  
●が1つの[左クリックモード]ボタンを再度押すと「●●(●がふたつ)」になり、連続で左クリックによる操作が行えます。
- 7 [右クリックモード]ボタン**  
マウスの右クリックによる操作を行う場合、[右クリックモード]ボタンを押して、ON(●を点灯)にします。右クリックによる操作が1度行えます。  
●が1つの[右クリックモード]ボタンを再度押すと「●●(●がふたつ)」になり、連続で右クリックによる操作が行えます。
- 8 [ダブルクリックモード]ボタン**  
ダブルクリックするとき、[ダブルクリックモード]ボタンを押して、ON(●を点灯)にします。
- 9 [ドラッグモード]ボタン**  
ドラッグする時、[ドラッグモード]ボタンを押して、ON(●を点灯)にします。
- 10 [スクロールモード]ボタン**  
スクロールモードのON/OFFを切り替えます。Webサイトなど、画面をスクロールするときに使います。

# 各画面の名称

## 4. 拡張機能パネル

拡張機能パネルは、3. 操作パネル **4** [拡張機能]ボタン(p.2 参照)を選ぶと、表示されます。

<ボタンの名称>

<b>1</b> 設定	<b>5</b> メール	<b>9</b> リモコン	<b>13</b> 矢印キーパッド
<b>2</b> 電源	<b>6</b> 定型文	<b>10</b> アプリ起動	<b>14</b> ウィンドウ操作
<b>3</b> メディア再生	<b>7</b> カード	<b>11</b> 全切取り	<b>15</b> 全選択
<b>4</b> 終了	<b>8</b> コピー	<b>12</b> 切取り	<b>16</b> 貼付け

[ 凡例 ]

**1** [意思伝達]画面で使用      **5** [意思伝達]画面以外で使用

### **1** [設定]ボタン

[設定]画面を表示します。

### **2** [電源]ボタン

画面を暗くしたり、パソコンの電源操作を行います。

### **3** [メディア再生]ボタン

DVDやCDの再生、パソコン内の動画や音楽ファイルの再生、インターネットのお気に入りを表示します。

### **4** [終了]ボタン

miyasuku EyeConSWを終了します。

### **5** [メール]ボタン

メールを送信します。※受信はできません。

### **6** [定型文]ボタン

定型文を選択し、意思を伝えます。

### **7** [カード]ボタン

カードを選択し、意思を伝えます。

### **8** [コピー]ボタン

選択内容をクリップボードにコピーします。

### **9** [リモコン]ボタン

miyasuku IRリモコンアプリを起動します。

### **10** [アプリ起動]ボタン

アプリケーションを起動します。

### **11** [全切取り]ボタン

文字を入力している画面に入力されている内容をすべて切り取り、クリップボードにコピーします。

### **12** [切取り]ボタン

選択内容を切り取り、クリップボードにコピーします。

### **13** [矢印キーパッド]ボタン

矢印キー操作の簡易キーボードを表示します。

### **14** [ウィンドウ操作]ボタン

アクティブウィンドウの切替え、ウィンドウ移動、ウィンドウサイズの変更、ウィンドウを閉じる操作を行います。

### **15** [全選択]ボタン

キーボードフォーカスのあるところの内容をすべて選択します。

### **16** [貼付け]ボタン

クリップボードの内容を貼り付けます。

## 準備

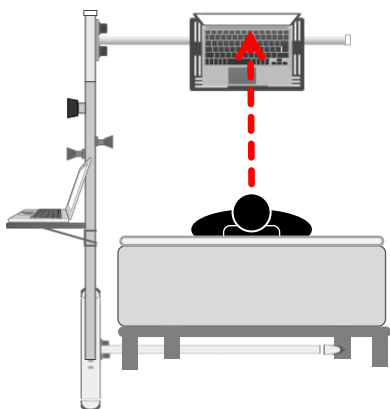
miyasuku EyeConSWをお使いになれる際は、介助者のかたが操作方法を説明しながら、設定してください。

視線検出式入力装置(以下「アイトラッカー」という。)は、赤外線の利用し視線の動きを検出します。アイトラッカーを使って意思伝達装置に文字を入力する場合、「**アイトラッカーから目までの距離と角度**」が**非常に重要**となります。「距離」と「角度」をしっかりあわせることで視線の動きを検出しやすくなります。また、直射日光や室内照明といった**光による要因**が、瞳孔検出に影響を及ぼす可能性もありますので、目(眼鏡を含む)やアイトラッカーに光があたらないようにしてください。

### 1. スタンドの設置

ディスプレイが、パソコンを操作する人の顔の正面にくるように、スタンドを動かします。

スタンドの支柱、パソコンを取り付けているプレート部分をしっかり持って、ゆっくり移動します。



### 2. 距離と角度

下図のように、ディスプレイの位置を調整します。距離・角度は、寝ている状態でも同様です。

- ① ディスプレイの中心を目の高さに合わせます。
- ② ディスプレイと目の距離を50cm～60cmに合わせます。



動画はこちら



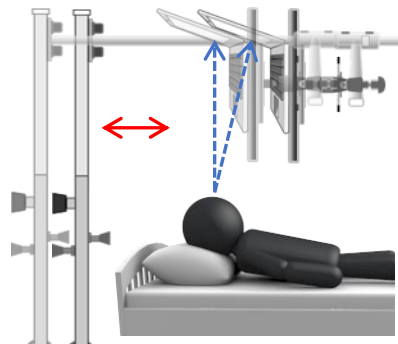
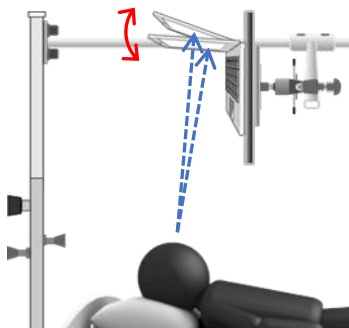
#### ディスプレイの下部をみようとして、視線が検出できない場合

(原因) 目が細くなり、まつげが赤外線をさえぎるため、アイトラッカーが視線を検出できなくなることがあります。

(対処法) 視線が上向きになると、アイトラッカーが反射する赤外線を検出しやすくなります。

- ① ディスプレイの角度を変える

- ② スタンドをベッドの頭部側に少し動かす



・ディスプレイの下部を見る場合は、意識して目を大きく開きましょう。

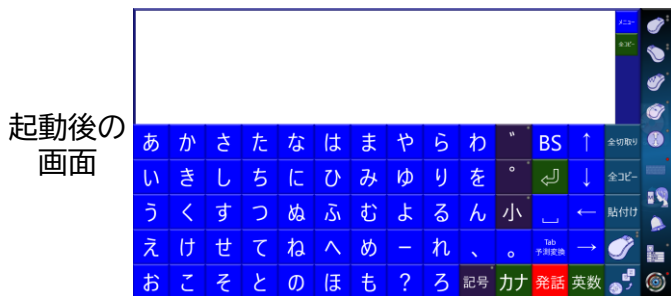
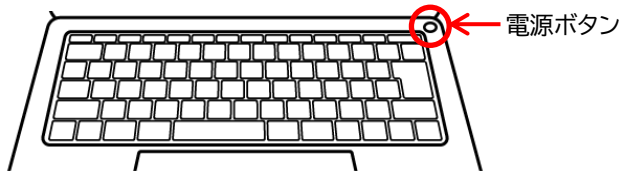


# 準備

miyasuku EyeConSWの初期設定値は、標準的な設定になっています。そのままお使いいただけますが、利用者の目によっては、設定を変更してください。

## 1. 電源を入れる

パソコンに電源ケーブルを接続し、コンセントに差します。電源ボタンを押して、miyasuku EyeConSWを起動します。電源ボタンの位置は、パソコンの機種によって異なります。

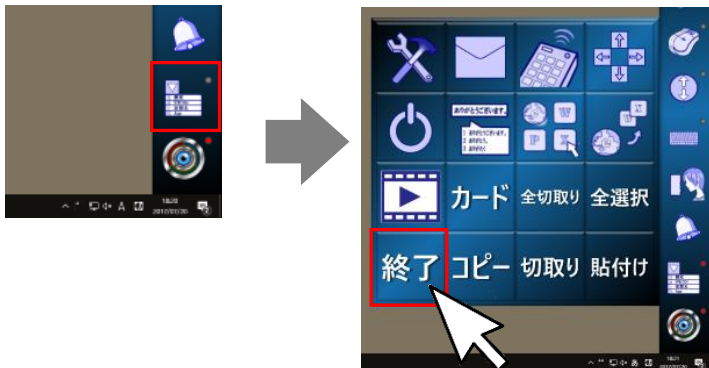


## 2. 電源を切る

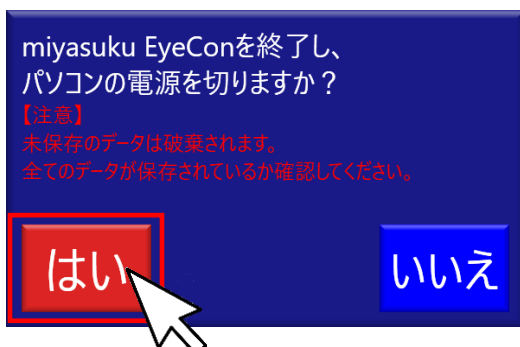
① 「拡張機能」ボタンをクリックして、「拡張機能パネル」を表示します。



② 「終了」ボタンをクリックします。



③ 確認メッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。

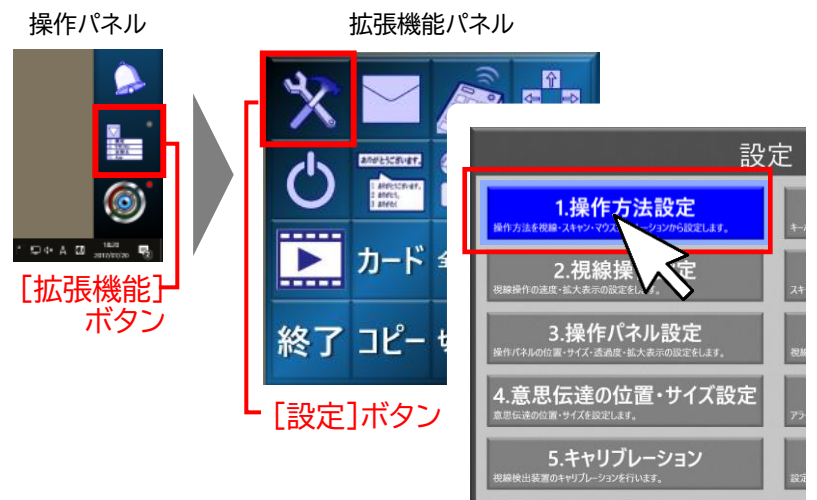


## 3. 操作方法を設定

miyasuku EyeConSWは、「視線操作」とスイッチによる「スキャン操作」の2通りの操作が行えます。

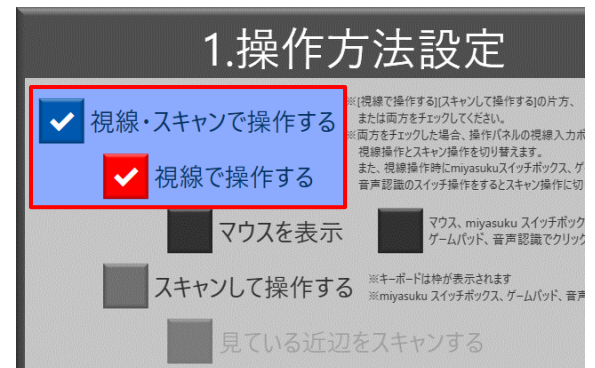
※「スキャン操作」とは、画面上を移動する「枠」が入力する文字上に来た時、タイミングよくスイッチを押して文字を入力し、その操作を繰り返して言葉をつづる操作方法。

① [拡張機能]ボタンを押して[拡張機能パネル]を表示します。[設定]ボタンを押して、「設定」画面を表示します。



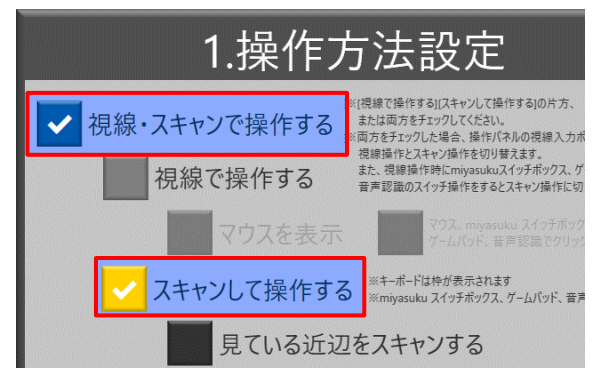
② 操作方法を設定します。

### 視線操作



p. 6 「視線で操作」へ

### スキャン操作



p. 9 「スキャンで操作」へ



**みながらスイッチを押して操作！**

詳しくは、「視線とスイッチで操作(p.13)」をご覧ください。

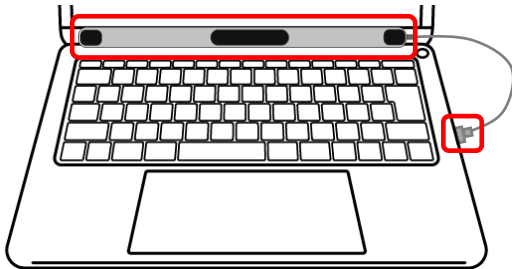
# 視線で操作

視線入力装置を使って、操作します。

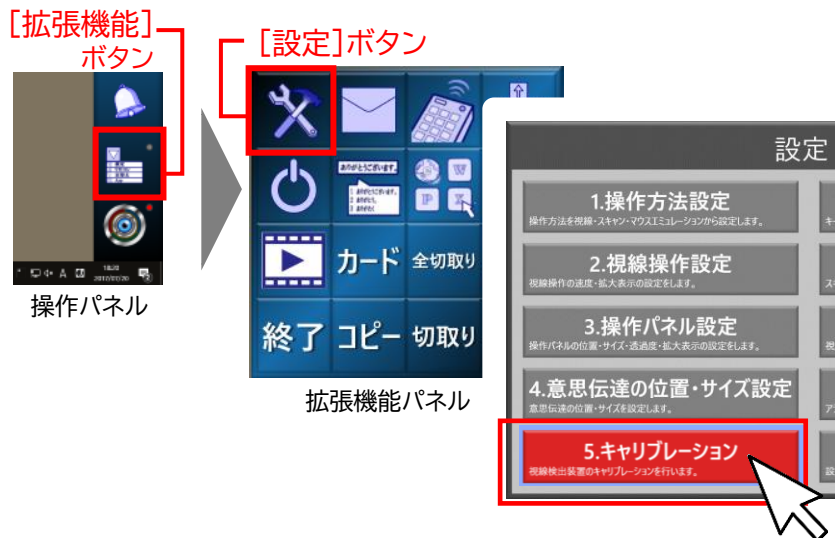
## 1. キャリブレーション

キャリブレーションとは、視線の調整のことです。人によって目の動きが異なるため、キャリブレーションを行い、正確に視線をとらえるように調整します。

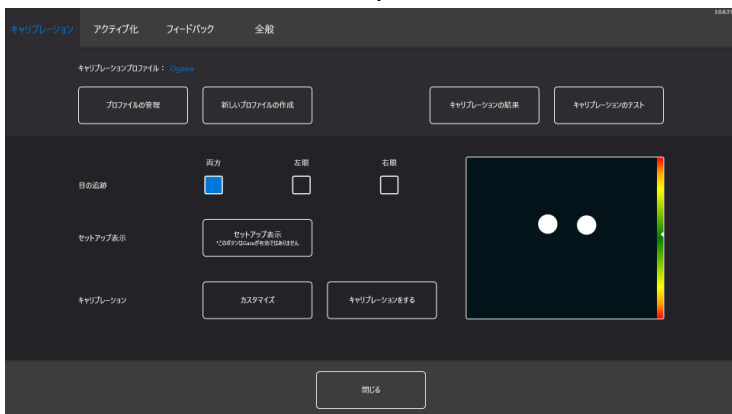
- ① PCEye5の向きを確認しパソコンに取り付けます。USBケーブルをパソコンに接続します。



- ② 「拡張機能」ボタンを押して「拡張機能パネル」を表示します。「設定」ボタンを押して「5. キャリブレーション」を選びます。



- ③ 「Tobii設定」ボタンを押して「キャリブレーション」画面を表示します。

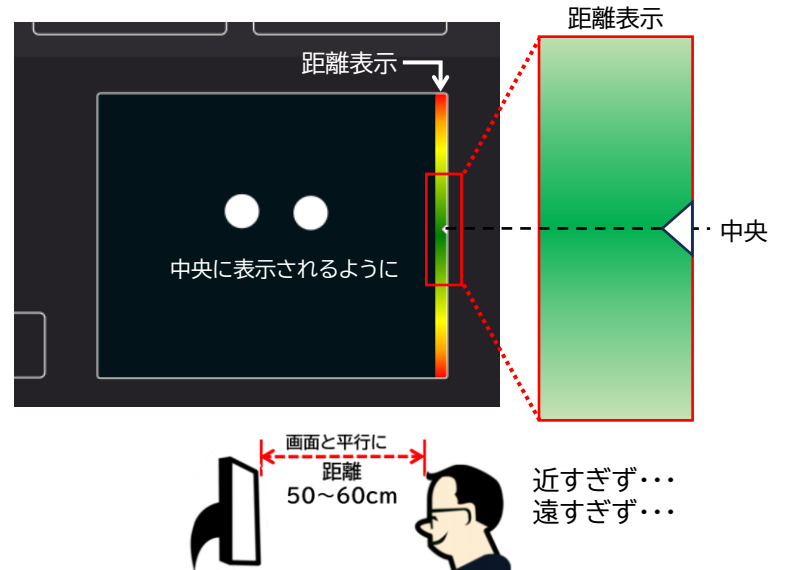


キャリブレーション画面

- ④ 画面右側に視線入力装置の検出した両目(〇〇)が表示されます。

ディスプレイと目の位置・距離を調整します。

- ・できるだけ目(〇)が中央に表示される。
- ・距離表示の「◀」マークが「緑」の範囲内に表示

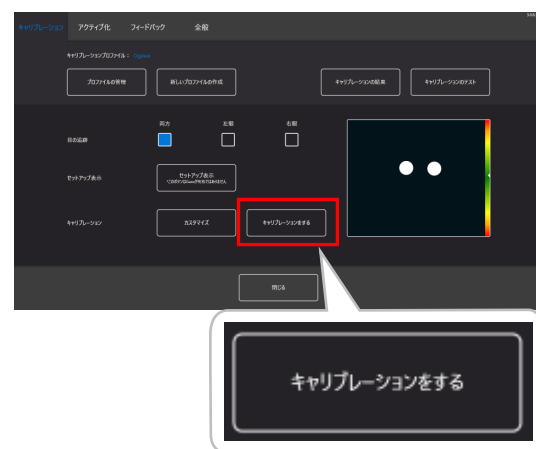


〇〇が点滅するとき！

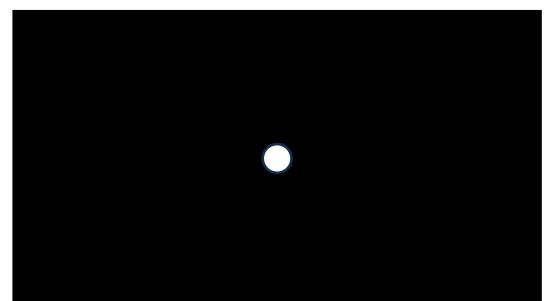
(原因) まつ毛や眼鏡、直射日光・室内照明が赤外線を遮り、アイトラッカーが視線を検出できない可能性があります。

(対処法) 目や光の状態を確認してください。

- ⑤ 「キャリブレーションをする」ボタンを押します。

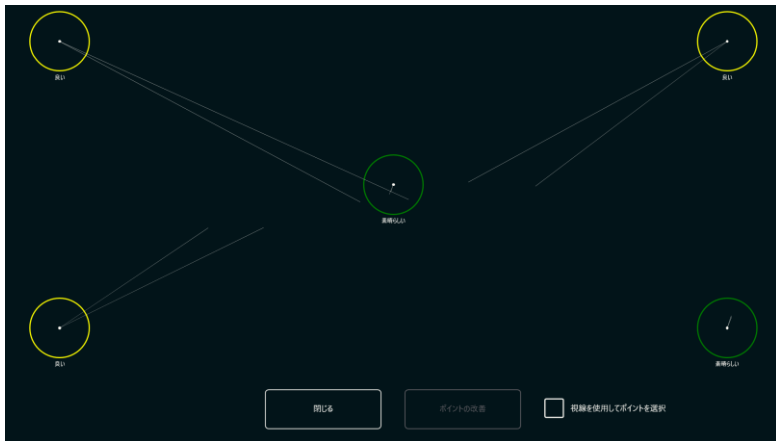


- ⑥ 黒い画面の中心に白い丸(〇)が表示されます。「〇」が移動するので、目で追いかけてます。

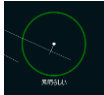


# 視線で操作

⑦ キャリブレーションの結果が、画面に表示されます。

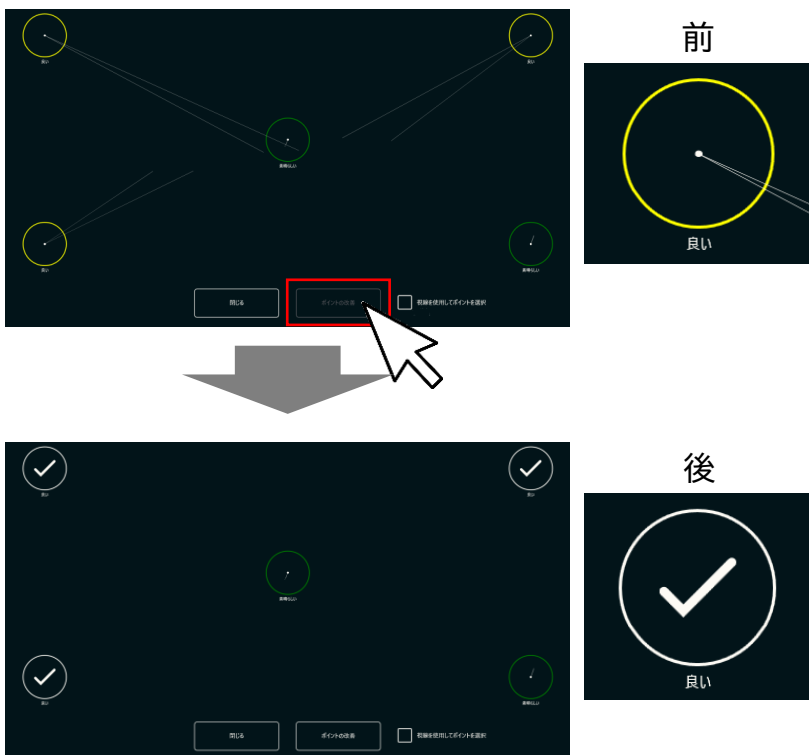


凡例

-  :OK (視線を正常に検知)
-  :OK(改善) (正常に検知)
-  :NG(一部検知不可)
- 白線 : 視線のズレ

白線が長い場合、もう一度キャリブレーションしてみましょう。

⑧ 黄色の○(NG)の箇所を選んで、画面下部の「ポイントの改善」ボタンを押します。キャリブレーションが始まります。



視線が正常に検出できれば、キャリブレーション成功です。

介助者による準備ができました。  
それでは、文字を入力してみましょう。

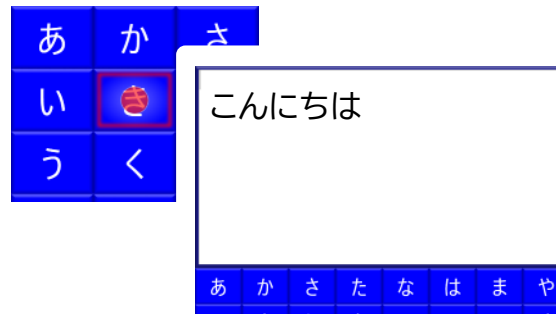
## 2. 視線入力をはじめます

miyasuku EyeConSWの初期設定値は、標準的な設定になっており、そのままお使いいただけます。利用者の状況にあわせることで目への負担が減り、使いやすくなります。

キーボードの入力したい文字を見つめます。

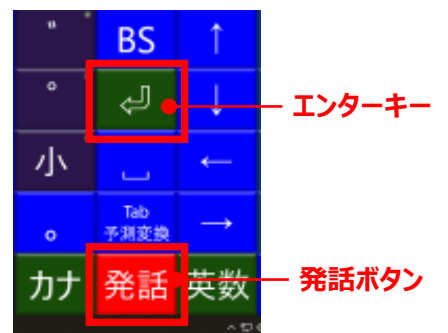


文字が赤枠で囲まれ、そのまま一定時間見つめると、そのキーが押されて、「意思伝達画面」に文字が入力されます。



## 3. 読み上げ

文字の入力が終わったら「エンターキー」を押して確定します。発話ボタンを押して、入力した文章を読み上げましょう。





# 視線で操作

## その他

### ・視線操作のON/OFFを切り替える

操作パネルの[視線操作]ボタンのON/OFFで簡単に切り替えられます。

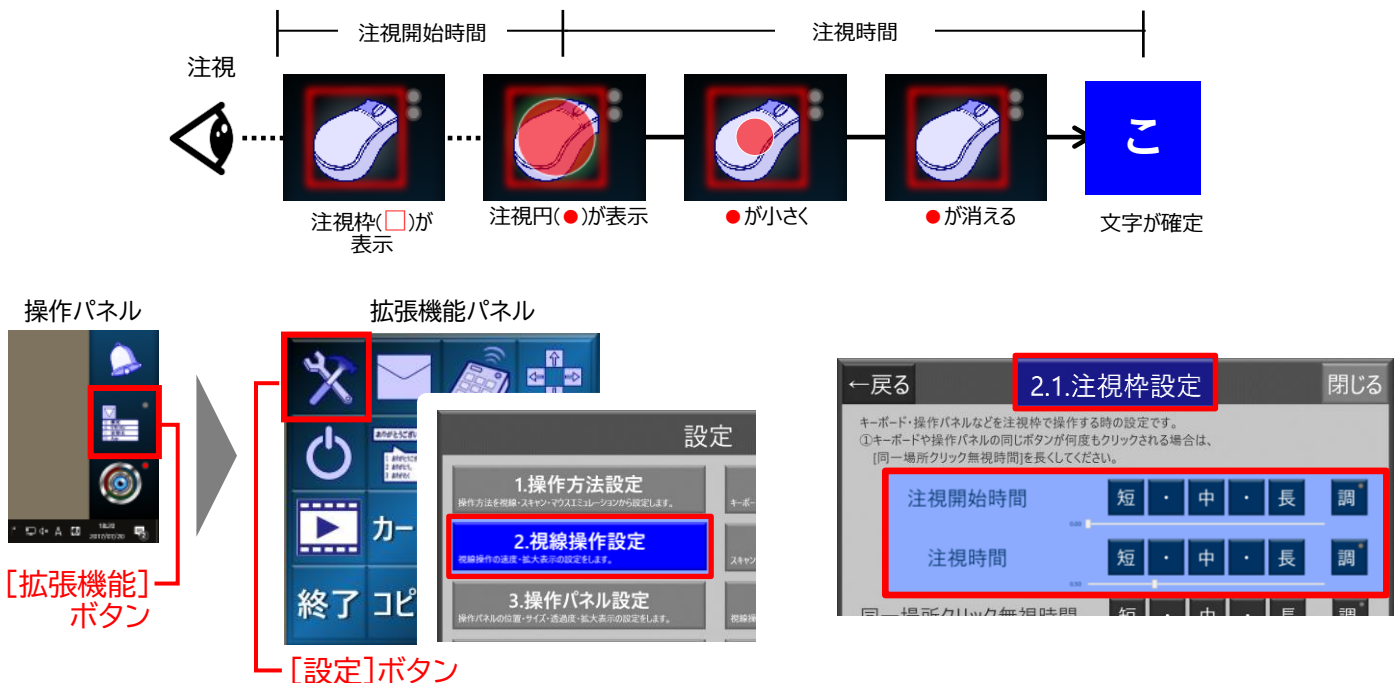


### ! 注視する時間を調整したい...

「注視開始時間」と「注視時間」の設定で、操作までの時間を調整します。

注視開始時間：注視枠 が表示されてから注視円 が表示されるまでの時間(操作するボタンを探す時間)

注 視 時 間：注視円(●)が表示されて小さくなり、やがて消えるまでの時間(文字を確定するまでの時間)



### ! 目的の文字をみているのに、違う文字が選択されてしまう場合の対処法 (6.1. 視線操作キーボード設定)

操作したい場所を一定時間注視すると、注視した位置の周囲を拡大(ズーム)表示します。

拡大された文字の中から入力した文字を選べます。(2段階入力)

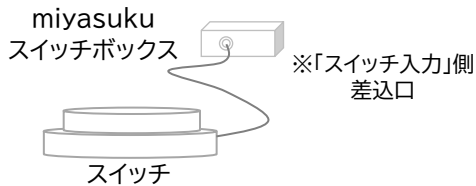


# スキャンで操作

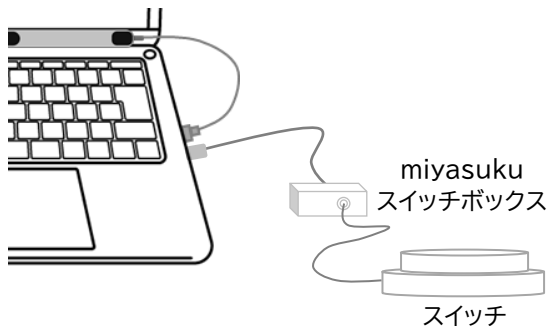
使い慣れたスイッチを使って、十字線や枠で操作対象をスキャンし、スイッチを押して操作します。

## 1. スイッチをつなぎます

- ① 使用するスイッチを、miyasukuスイッチボックスの「スイッチ入力」側の差込口に つなぎます。

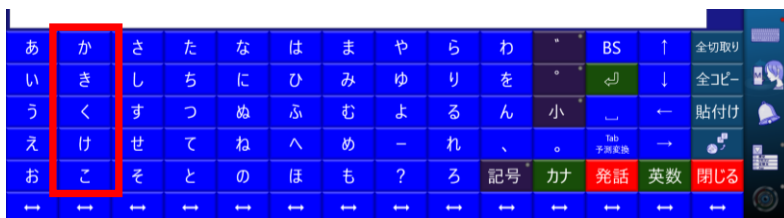


- ② miyasukuスイッチボックスをパソコンのUSBの差込口に差し込みます。



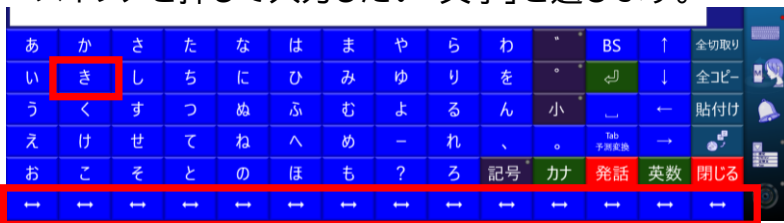
## 2. スキャンで文字入力をはじめます

- ① スイッチを押すと、枠が左から右へ移動します。スイッチを押して、入力したい「文字列」を選びます。



⚠ スイッチが押されなかったときは、もう一度左から右へ枠が移動します。

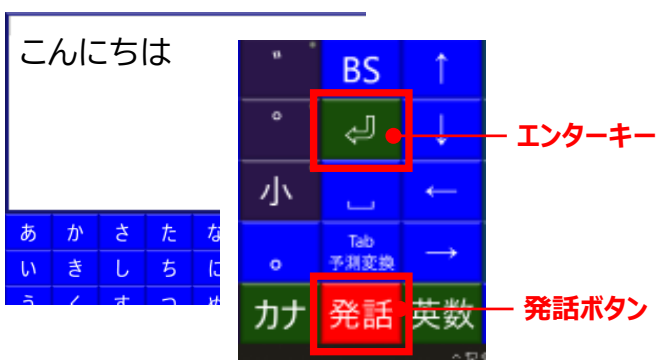
- ② 次に選んだ文字列の上から下へ枠が動きます。スイッチを押して入力したい「文字」を選びます。



スキャン方向を切り替えます。

⚠ 選びたい文字列を過ぎてしまい、逆方向に戻りたいときに「↔(両方向矢印)」を選択すると、スキャンの方向が切り替わります。

- ③ 文字を入力して「エンターキー」を押して確定します。発話ボタンを押して、入力した文章を読み上げましょう。



## その他設定

### 7.1 スキャン枠の速度・色設定

スキャンする際の速度や枠の太さ・色の調整ができます。

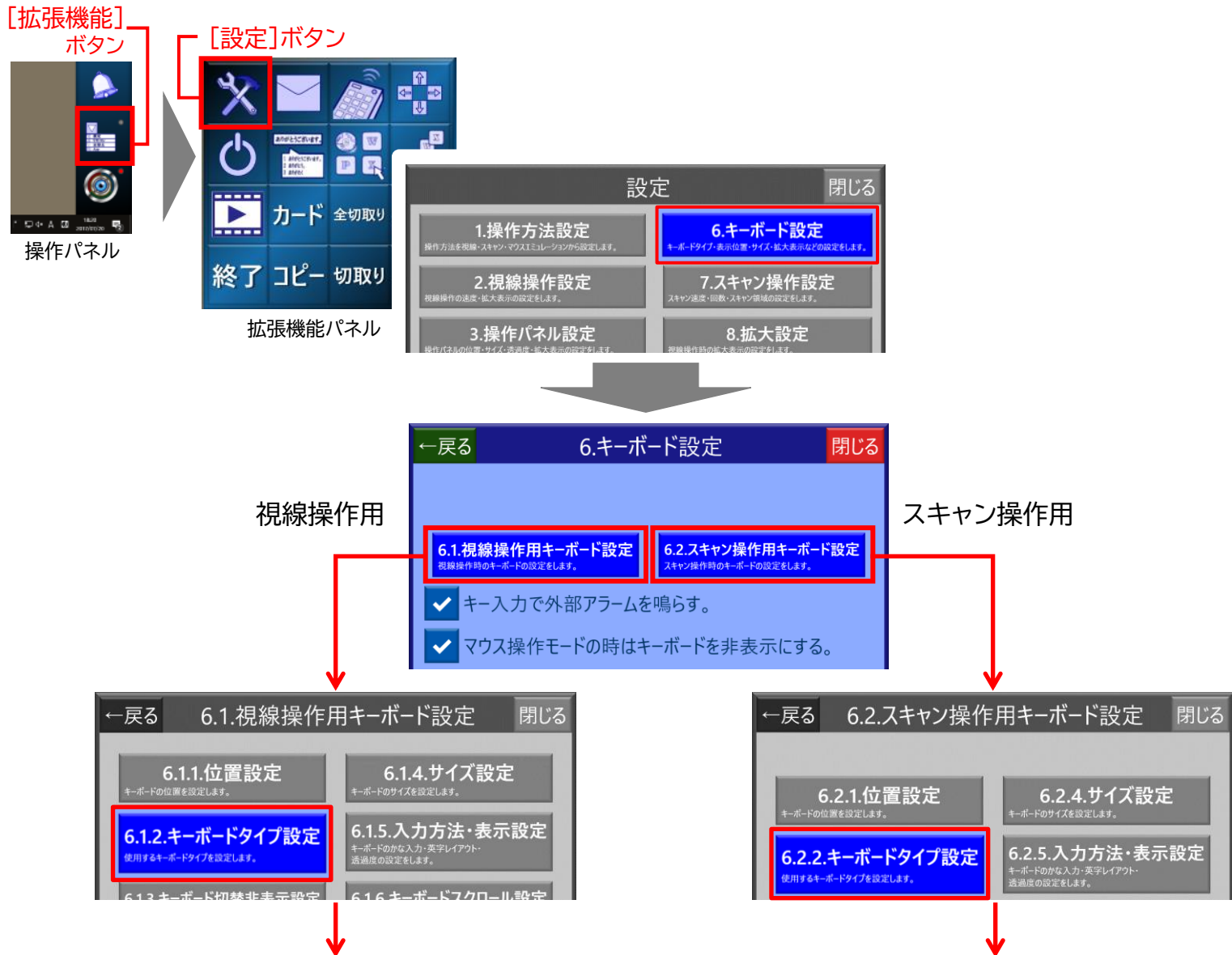


# キーボード

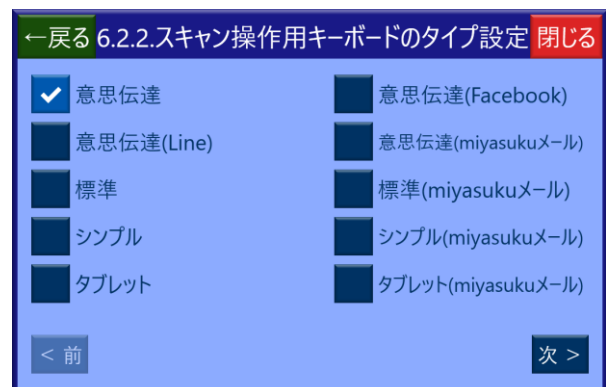
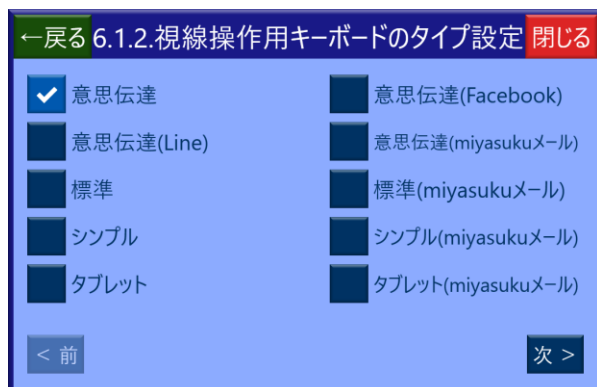
miyasuku EyeConSWは、視線操作とスキャン操作のキーボードを別々に設定できます。

## 1. キーボードの切り替え方法

- ① 「拡張機能」ボタンを押して「拡張機能パネル」を表示します。  
「設定」ボタンを押して「6. キーボード設定」を選びます。



- ② 使用するキーボードを選びます。



# キーボード

## 2. キーボードの種類

miyasuku EyeConSWには、数種類のキーボードがあらかじめ登録されています。代表的なキーボードは、以下のとおりです。

### ● 意思伝達キーボード

文字入力に特化したキーボードです。

50音配列キーボード

あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	BS	↑	全切取り
い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を	↵	↓	全コピー
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん	小	←	貼付け
え	け	せ	て	ね	へ	め	ー	れ	、	Tab	→	手動変更
お	こ	そ	と	の	ほ	も	?	ろ	記号	カナ	発話	英数

英数字キーボード

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	¥	BS	↑	全切取り
q	w	e	r	t	y	u	i	o	p	_	↵	↓	全コピー
a	s	d	f	g	h	j	k	l	&	%	←	貼付け	
z	x	c	v	b	n	m	!	+	-	=	Tab	→	手動変更
(	)	:	@	,	.	?	*	/	その他	記号	Caps	発話	日本語

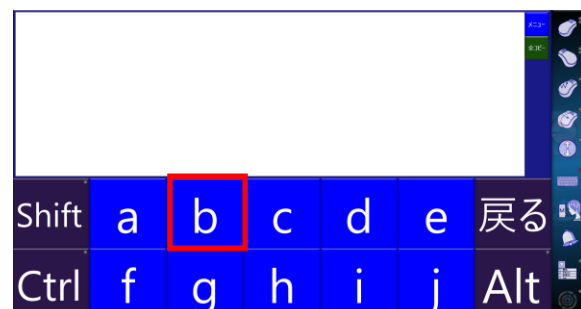
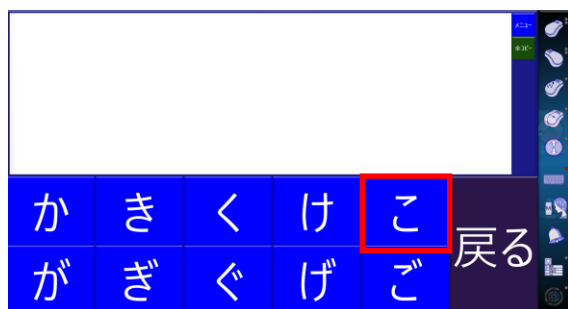
### ● タブレットキーボード

1つのキーを大きくし、視線で操作しやすくしたキーボードです。子音と母音で一つの仮名を入力する2段階入力になります。

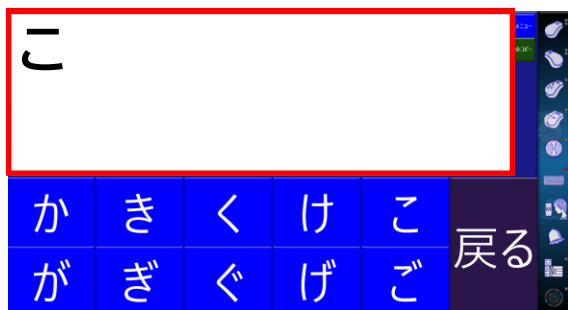
[操作1] 行(あ・か・さ・た・な...)を選びます。



[操作2] 入力したい文字を選びます。

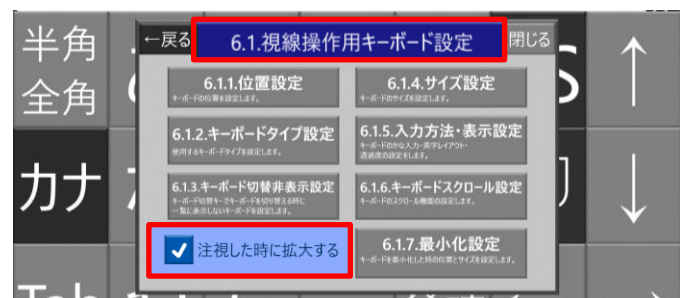


選んだ文字が「意思伝達画面」に入力されます。



**眼振があり、タブレットモードでも視線入力が難しい場合の対処法**  
(6.1. 視線操作用キーボード設定)

タブレットモードをさらに拡大してみてください。





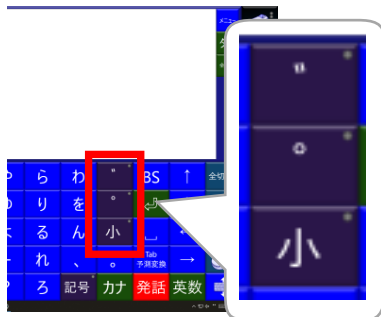
## こんなとき

### ⚠ 意思伝達画面に文字が入力できない

「意思伝達画面」が選択されていないため、文字の入力や操作ができない状態と考えられます。これを「入力のフォーカスが外れる」といいます。「意思伝達画面」をクリックして入力フォーカスを戻します。

### ⚠ 濁点,半濁点,小文字のひらがなを入力したい

文字を選択する前に、濁点「゛」、半濁点「゜」、小文字「小」のキーをクリックして、ON(右上に●)にします。キーボードに濁点等の入力したい文字が表示されていることを確認し、文字をクリックします。



### ⚠ まちがった文字を入力した

キーボードの「BS」キーをクリックすると、1文字ずつ文字を消去します。



### ⚠ キャリブレーションがうまくできない

p4. を参照いただき、もう一度ディスプレイの位置を調整してください。解決できない場合は、お買い求めいただいた販売代理店へお問い合わせください。

### ⚠ 入力した文字をすべて消したい

#### ● キーボードに「全切り」ボタンがある場合

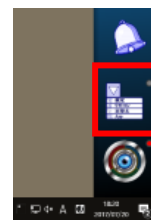
[全切り]ボタンを押すと、キーボードフォーカスのあるエリアの内容をすべて切り取ります。



#### ● キーボードに「全切り」ボタンがない場合

① [拡張機能]ボタンを押して、[拡張パネル]を表示します。

操作パネル



[拡張機能]ボタン

拡張機能パネル



[全切り]ボタン

② [全切り]ボタンを押すと、キーボードフォーカスのあるエリアの内容をすべて切り取ります。

※ 漢字の変換途中は、入力内容が確定していないため、全切りできません。エンターキーを押して入力内容を確定してから、もう一度「全切り」ボタンを押します。

## ショートカットキー

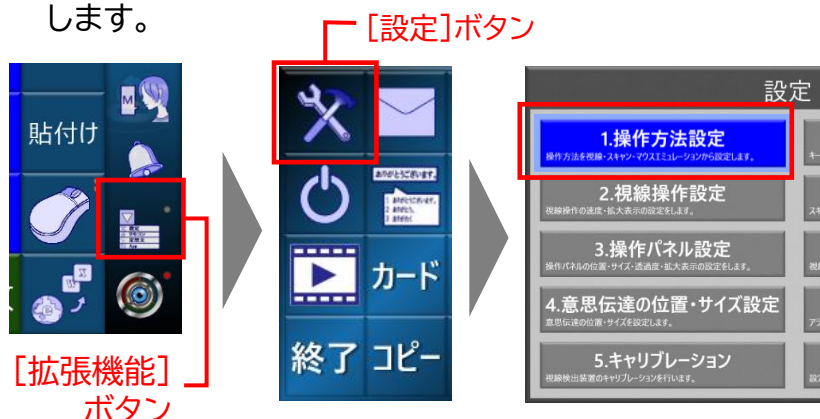
ショートカットキー	動作
Ctrl+Alt+F1	視線検出装置専用のキャリブレーション
Ctrl+Alt+F3	視線入力ON/OFF
Ctrl+Alt+F4	操作パネルの表示/非表示切り替え
Ctrl+Alt+F5	Tobii設定表示
Ctrl+Alt+1	視線入力をOFFにして設定画面を表示
Ctrl+Alt+2	定型文画面表示
Ctrl+Alt+3	カード画面表示

## 見ながらスイッチを押して操作

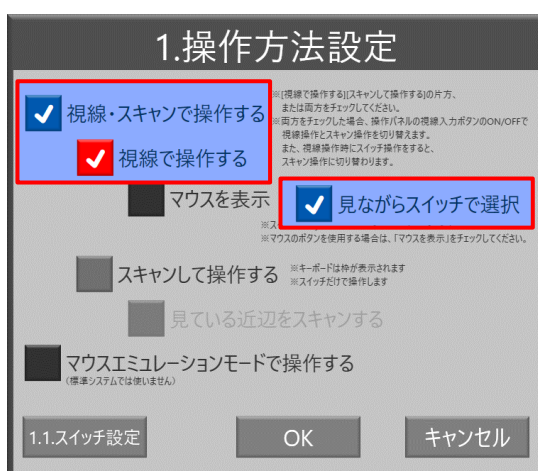
miyasuku EyeConSWは、視線で文字を選択し、スイッチで確定すると、文字の入力スピードが速くなります。

### 1. 操作方法を設定する

- ① [拡張機能]ボタンを押して、[拡張機能パネル]を表示します。[設定]ボタンを押して、「設定」画面を表示します。

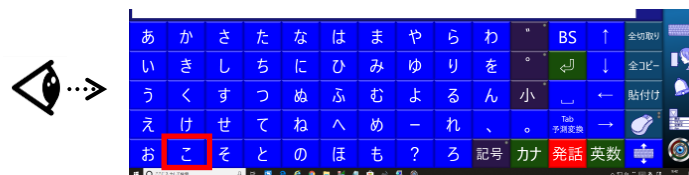


- ② 操作方法を設定します。

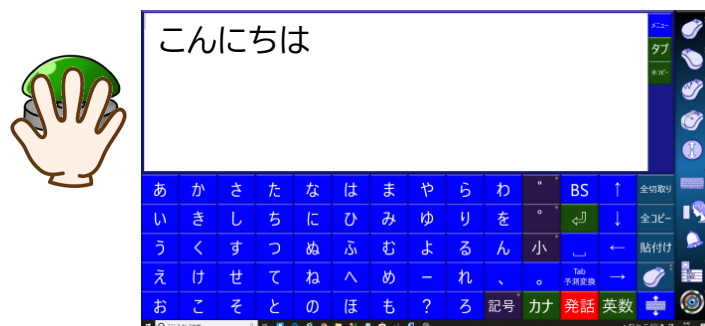


### 2. 文字を入力する

- ① 視線で文字を選ぶと、赤枠が表示されます。



- ② スイッチを押すと、選択した文字が確定し「意思伝達」エリアに入力されます。



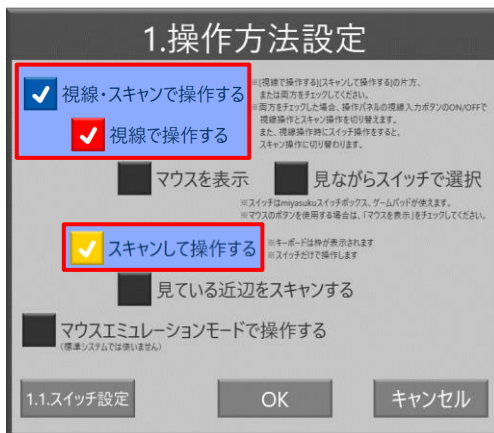
# 知っておくと便利

## 視線操作とスキャン操作を切り替えて操作

- ① [拡張機能]ボタンを押して、[拡張機能パネル]を表示します。[設定]ボタンを押して、「設定」画面を表示します。



- ② 操作方法を設定します。



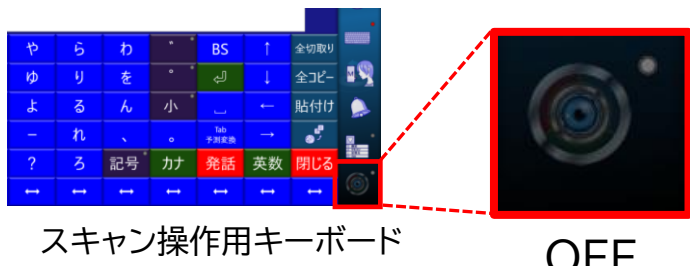
### 【方法1】 [視線操作]ボタンをON/OFF

「視線操作」と「スキャン操作」を、操作パネル [視線操作]ボタンのON/OFFで切り替えます。



視線操作用キーボード

ON



スキャン操作用キーボード

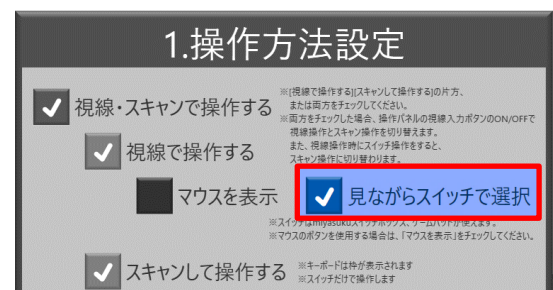
OFF

### 【方法2】 スイッチを押す

スイッチを押すことで、視線操作からスキャン操作へ切り替わります。



※「見ながらスイッチで選択」をチェックしている場合は、使えません。



# 動画による操作説明

## miyasuku勉強会 1/2

 <p>第1回 (1/4) miyasukuスタンドの組み立てと活用事例</p>	 <p>第1回 (2/4) 視線入力のセッティング 距離と角度がすべて！</p>	 <p>第1回 (3/4) miyasuku EyeConSW 意思伝達画面の調整</p>	 <p>第1回 (4/4) miyasuku EyeConSW 注視時間の設定</p>
 <p>第2回 (1/4) セッティング キャリブレーション</p>	 <p>第2回 (2/4) 注視開始時間・注視時間 キーボードの拡大</p>	 <p>第2回 (3/4) 視線入力でネット検索 キーボードの位置変更</p>	 <p>第2回 (4/4) メモ帳を使って 発話してみよう</p>
 <p>第3回 (1/4) はじめに</p>	 <p>第3回 (2/4) 視線入力の感度設定</p>	 <p>第3回 (3/4) キーボードスクロール</p>	 <p>第3回 (4/4) 見ながらスイッチで操作</p>
 <p>第4回 (1/7) はじめに</p>	 <p>第4回 (2/7) 注視ガイド設定</p>	 <p>第4回 (3/7) 表示設定</p>	 <p>第4回 (4/7) 表示設定の補足</p>
 <p>第4回 (5/7) 視線操作設定のリセット</p>	 <p>第4回 (6/7) ドラッグ時の 注視時間・感度設定</p>	 <p>第4回 (7/7) ドラッグモード設定</p>	



# 動画による操作説明

## miyasuku勉強会 2/2

 <p>第5回 (1/3) スイッチボックスの使い方</p>	 <p>第5回 (2/3) スイッチを操作して スキャンでPCを操作する</p>	 <p>第5回 (3/3) スキャン操作設定</p>
 <p>第7回 (1/3) 操作パネルの設定</p>	 <p>第7回 (2/3) 意思伝達画面</p>	 <p>第7回 (3/3) ズーム設定</p>
 <p>第8回 (1/2) 設定の最終回</p>	 <p>第8回 (2/2) 重度障害者用意思伝達装置 の精度とmiyasuku製品に ついて</p>	